

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)香椎照葉5丁目計画A棟	階数	地上46F
建設地	福岡県福岡市香椎照葉5丁目26番	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、法22条地域	平均居住人員	1,230 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2016年10月8日
敷地面積	9,250 m ²	作成者	松波
建築面積	918 m ²	確認日	2016年10月15日
延床面積	32,773 m ²	確認者	平田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み: 71% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の: 71%</p> <p>④上記+: 71%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> アイランドシティ内の未開発地域である照葉5丁目東地区における、約280戸の超高層マンションとその住人が利用する自走式駐車場計画。 	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> シックハウス対応として内装仕上げ材のほぼ全てをF☆☆☆☆で行った。 開口部遮音性能 T-2以上を確保した。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 高層マンションの地震への対応として免震構造を採用。 閉鎖的になりがちな共用空間に対して住人同士の交流の活性化を図るために4層ごとに植栽のあるコミュニティ 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地及び広場(ペDESTリアンデッキ)を設け、街区を中心とする近隣住民との積極的な交流を図る空間を提供している。 敷地面積の30%以上を樹木、芝生で緑地化を図っており
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 主用途である共同住宅住戸は電気・ガス併用方式でありエネルギー消費が多い給湯方式は高効率潜熱回収ガス給湯機を採用している。 共用部照明には、スケジュールタイマー、人感センサー対応を行う。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内をできるだけ多くの緑地とし、車路の一部を緑化し浸透性のある舗装としている。 再生資源、再生材の積極的な利用を図った。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面形状を三角形とすることで、周辺地域への圧迫感を抑え、日照や通風など周辺の環境への配慮も考慮した。また、個性的な形状は、「未来の創造都市アイランドシティ」に相応しい、新しいランドマークとなることも期待できる。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される